

3.2.10. 橋りょう

橋りょうは、市が管理する橋りょう台帳および現地確認、目視点検により現状を確認しました。

3.2.10.1. 全体数量

(1) 橋りょう数

市が管理する道路橋は、21 橋です。これらの道路橋の内訳は、橋りょうの長寿命化修繕計画の対象となる橋りょうが9 橋、それ以外の橋りょうが12 橋です。

また、市が管理する歩道橋は、15 橋です。橋りょう数は表 3-2-10-1 のとおりです。また、市が管理する橋りょう一覧表を表 3-2-10-2、表 3-2-10-3 に示します。

表 3-2-10-1 橋りょう数

橋 種	橋りょう数	路線数
道路橋	21 橋	19 路線
歩道橋	15 橋	9 路線

(2) 橋りょうリスト

橋りょう台帳を基に現地を確認した市が管理する橋りょうについて、次のとおり示します。

表 3-2-10-2 市内の道路橋

No	橋梁名	路線名	所在地	橋長(m)	架設年度	橋種
1	鶴代橋	しみず下通り	小柳町2-45	213	1990	PC橋
2	富士見通り立体橋	富士見通り	晴見町2-24-14	35.4	1973	鋼橋
3	白糸橋1号	白糸台通り	白糸台5-18-2	15	1976	RC橋
4	白糸橋2号	白糸台通り	白糸台5-19-5	10.5	1976	RC橋
5	白糸橋3号	市道2-221号	白糸台5-5-10	10.5	1976	RC橋
6	小柳橋	市道2-107号	小柳町1-143	16	1984	RC橋
7	みょうらい橋	市道4-90号	本町2-10-13	20	1977	PC橋
8	中央道側道1号	中央道側道1号	是政3-64-5	8.14	1950	RC橋
9	矢崎排水第三号橋	市道4-280号	是政3-47-1	5.51	1962	RC橋
10	256号	市道4-276号	是政3-60-4	4.47	1967	RC橋
11	雑田橋	市道4-173号	本町3-31-34	5.75	1972	RC橋
12	261号	市道6-117号	住吉町1-32	2.56	1972	RC橋
13	262号	市道6-121号	住吉町4-26	2.83	1965	RC橋
14	大山橋	大山道	日新町2-23	7.11	1963	RC橋
15	相模橋	大山道	日新町2-39-26	4.08	1963	RC橋
16	264号	市道6-67号	日新町4-40	2.75	1965	RC橋
17	208号	東大山道	四谷4-8-1	3.7	1964	RC橋
18	265号	市道6-263号	四谷5-29	2.36	1966	RC橋
19	火の見橋	市道6-176号	四谷2-64	2.9	1965	RC橋
20	267号	三屋通り	四谷4-53	2.99	1970	RC橋
21	270号	市道6-269号	日新町4-46	3.41	1967	RC橋

※緑色：長寿命化修繕計画の対象橋りょう（9橋） 橙色：その他の橋りょう（12橋）

表 3-2-10-3 市内の歩道橋

No	橋梁名	路線名	所在地	橋長(m)	架設年度	橋種	管理者
1	分倍1号橋	市道4-158号	分梅町1-7	19.53	1929	鋼橋	市
2	武蔵台3丁目跨線橋	市道5-174号	武蔵台3-52-9	30.5	1960	鋼橋	市
3	第六小前歩道橋	学園通り	天神4-14	11.5	1968	鋼橋	市
4	第九小前歩道橋	学園通り	栄町3-7	12	1968	鋼橋	市
5	紅葉丘歩道橋	多摩霊園南参道	紅葉丘1-30	10.5	1968	鋼橋	市
6	第五小前歩道橋	市川緑道	日新町1-7	33.85	1973	鋼橋	市
7	西府駅南側西府崖線歩道橋	市川緑道	日新町1-6	48	2010	鋼橋	市
8	西武多摩川線横断歩道橋	無し	小柳町2-46	16.25	1973	鋼橋	市
9	本町2丁目跨線人道橋	市道4-122号	本町1-6-1	34.35 (85.60)	1974	鋼橋	市
10	車返団地横断歩道橋	白糸台通り	白糸台5-31	31	1975	RC橋	市
11	南白糸台横断歩道橋	しみず下通り	押立町2-30	22.75	1975	鋼橋	市
12	分倍河原駅人道橋	無し	片町2-38	39 14.4	1978	鋼橋	市
13	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	府中駅前通り (及び国道20号)	府中町1-14	34.5	1994	鋼橋	市
14	観月橋立体交差人道橋	市道4-138号	矢崎町1-32-2	7.9	1972	RC橋	市
15	北府中駅階段	府中街道	晴見町2-27	20.4	2014	鋼橋	市

3-2-4

インフラの整備状況(橋りょう)

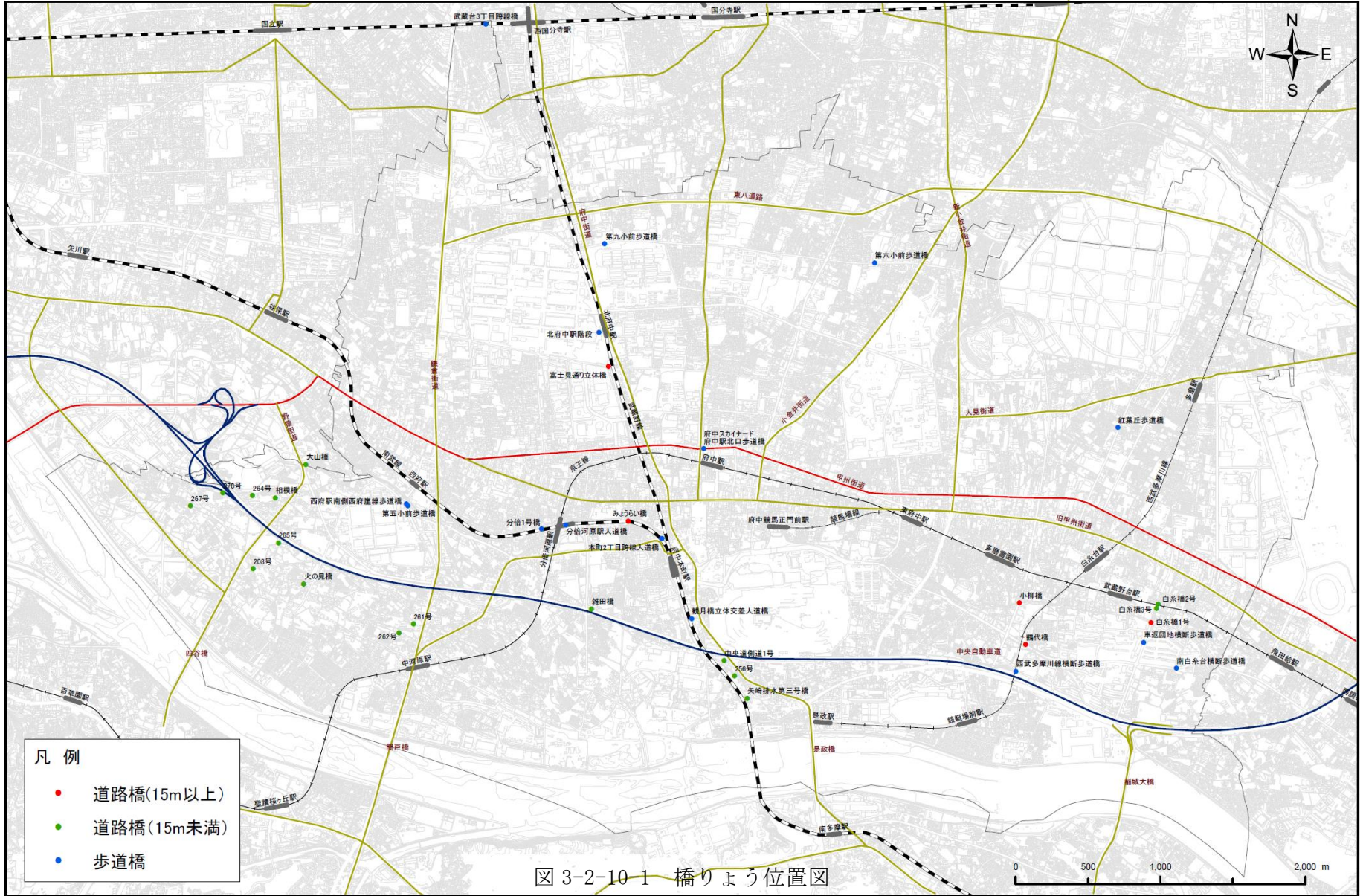
3.2.10.2. 橋りょう位置

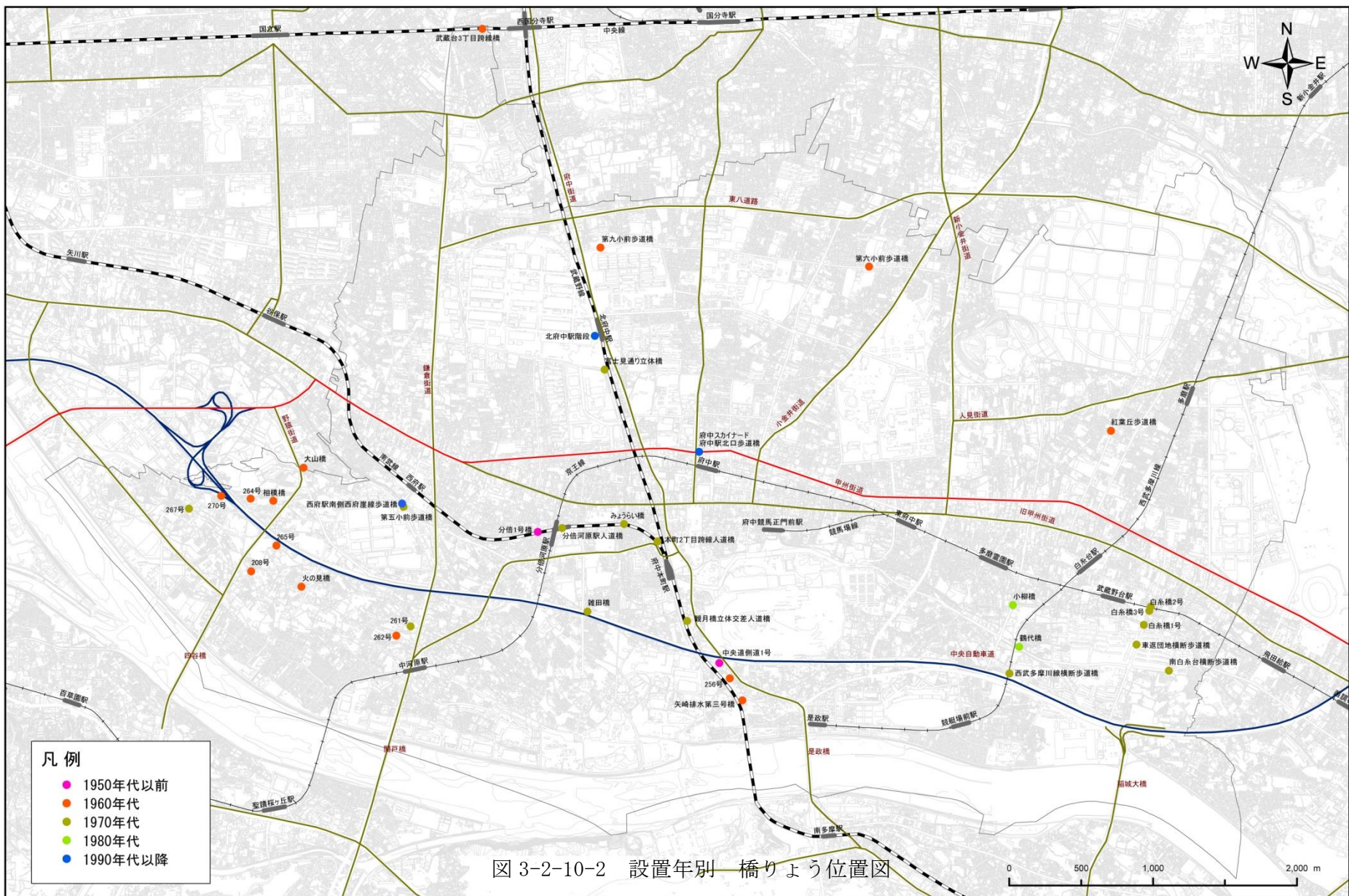
次頁より市が管理する道路橋と歩道橋の位置を、指標ごとに位置図で示します。

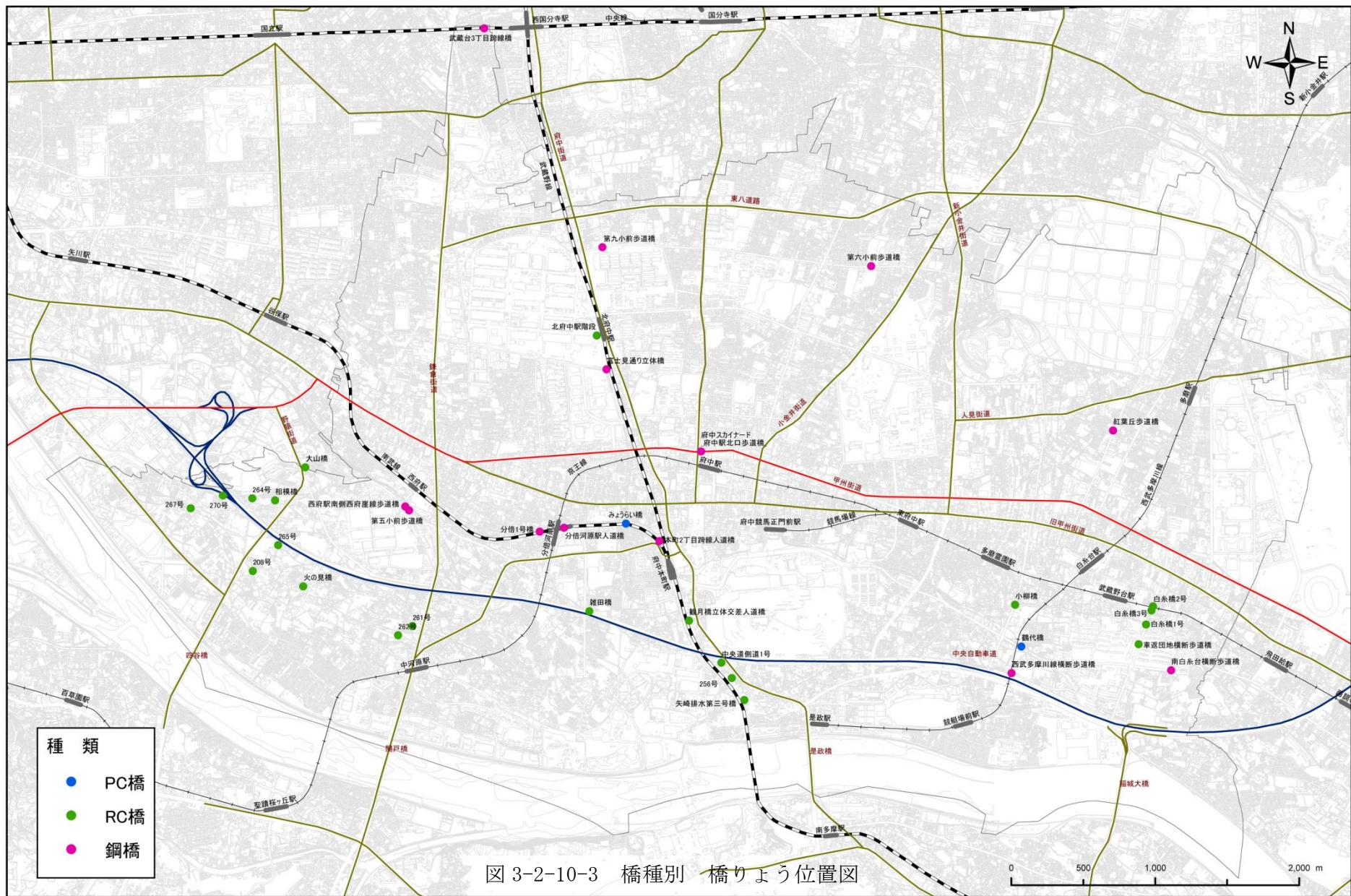
- 1) 橋りょう施設 (図 3-2-10-1)
- 2) 設置年別 (図 3-2-10-2)
- 3) 橋種別 (図 3-2-10-3)
- 4) 建設年代と橋長別 (図 3-2-10-4)

3-2-4

インフラの整備状況(橋りょう)









3.2.10.3. 橋りょうの整備状況

(1) 橋りょう数の推移

府中市が管理する橋りょうは、道路橋が21橋、歩道橋が15橋の合計36橋です。なお、橋りょうの数は、昭和35年度から昭和44年度にかけて急増していますが、その一方で、橋りょうの管理延長は、昭和47年度から昭和54年度にかけて増加しています。これは、建設技術の向上等により、昭和45年度以前に整備された橋りょうに比べ、1橋当たりの規模が大きくなったことによります。

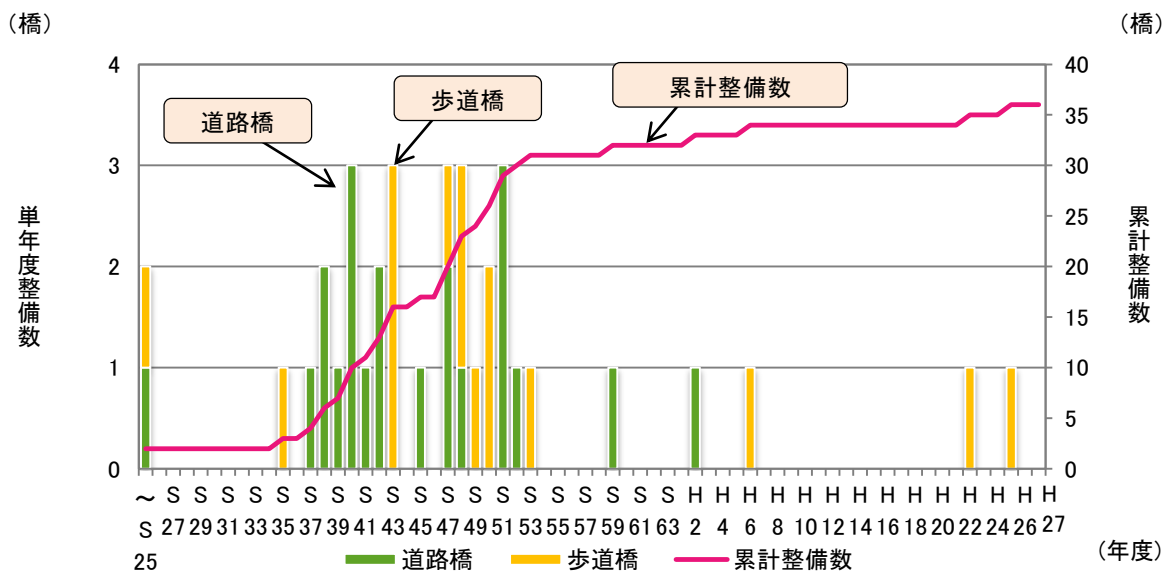


図 3-2-10-5 橋りょうの建設年度分布

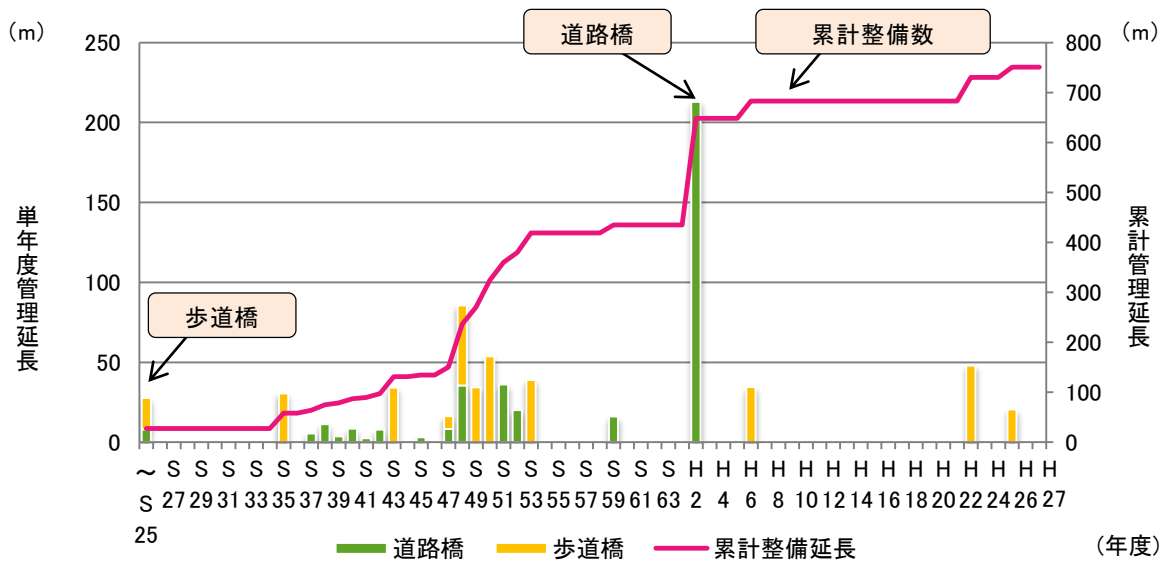


図 3-2-10-6 橋りょうの管理延長の推移

(2) 橋りょうの建設年度

市で管理する橋りょう 36 橋は、台帳などで建設年度を確認できます。そこから、10 年単位で建設年を整理して図で示します。平成 28 年度（2017 年）現在、建設から 50 年以上を経過した橋りょうは 36.1%（13 橋）で、国土交通白書で示される全国の平均的割合（約 20%：2016 年度実績）と比べ多い傾向です。また、40 年以上 49 年以下の橋りょうも 47.2%と高く、今後は耐用年数が近い高齢化橋りょうとして維持していくことになります。

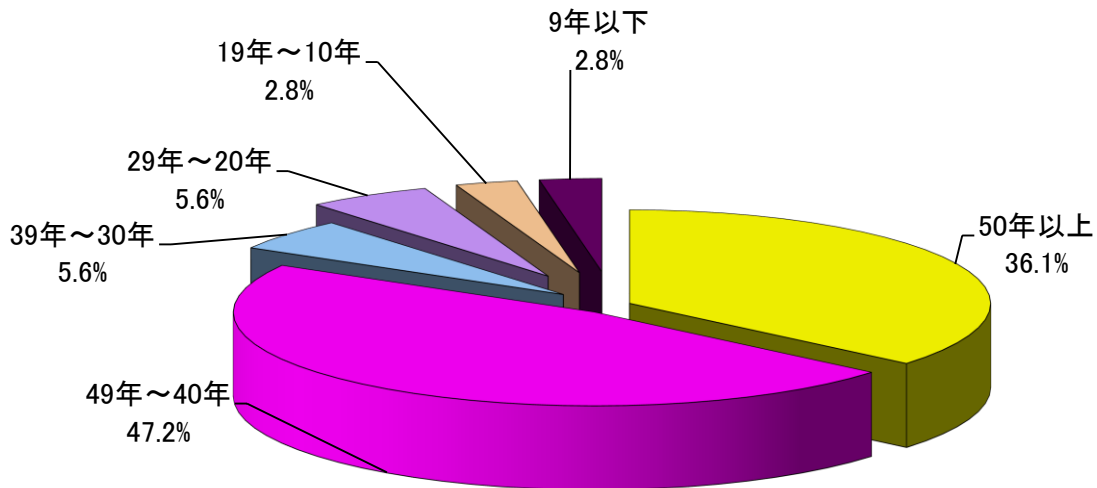


図 3-2-10-7 管理橋りょうの供用年数区分

表 3-2-10-4 府中市の道路橋の供用年数区分内訳 一覧表

供用年数の分類	合 計
供用後 50 年以上が経過している橋りょう （昭和 42 年（1967 年）以前に供用開始）	13 橋 （36.1%）
供用後 49 年～40 年が経過している橋りょう （昭和 52 年（1977 年）以前に供用開始）	17 橋 （47.2%）
供用後 39 年～30 年が経過している橋りょう （昭和 62 年（1987 年）以前に供用開始）	2 橋 （5.6%）
供用後 29 年～20 年が経過している橋りょう （平成 9 年（1997 年）以前に供用開始）	2 橋 （5.6%）
供用後 19 年～10 年が経過している橋りょう （平成 19 年（2007 年）以前に供用開始）	1 橋 （2.8%）
供用後 9 年以内の橋りょう （平成 20 年（2008 年）以降に供用開始）	1 橋 （2.8%）
合 計	36 橋

橋りょうを今後も供用し続ける条件のもとで将来の推計を行うと、市が検討する基準年において建設後 50 年以上と 50 年未満で整理した場合、2027 年に 83.3%、2057 年に約 94.4%の橋りょうが 50 年以上となります。(図 3-2-10-8)

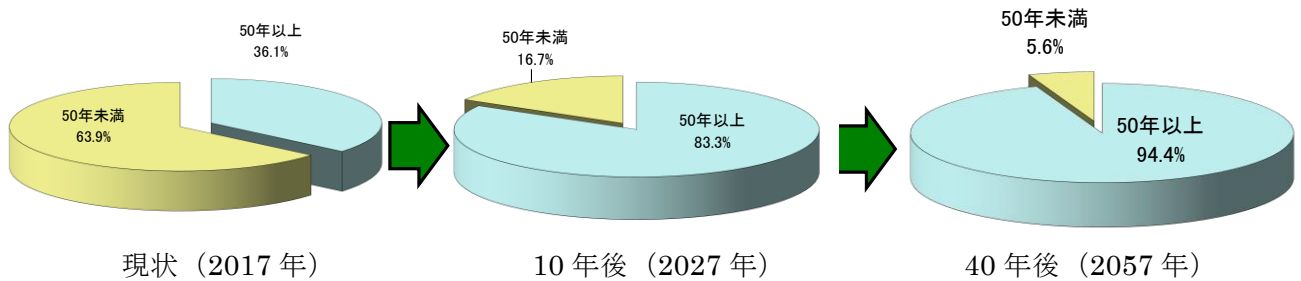


図 3-2-10-8 建設後 50 年以上を経過する道路橋の割合

(3) 橋りょうの種類

市が管理する道路橋の材質を、「橋りょう数単位」と「橋りょう延長単位」で整理します。「橋りょう数単位」で集計すると、RC 橋の占める割合が 54.3%と多い傾向です。また、「橋りょう延長単位」で比較すると、54.1%で鋼橋が多くなります。

なお、市の PC 橋は、鶴代橋の一橋のみです。このことから、小規模橋りょうは RC 橋（現場打ち鉄筋コンクリート橋）や鋼橋としていることが確認できます。

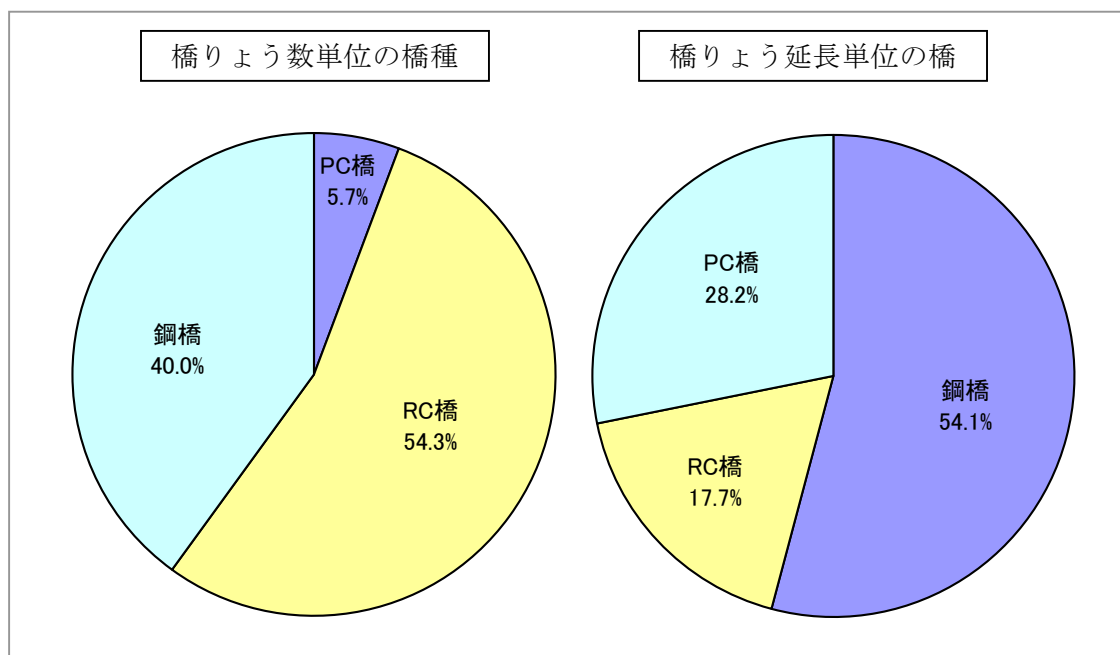


図 3-2-10-9 橋りょう種類の内訳

(4) 橋長分類

橋長別に分類すると、橋長が5m以下のものが最も多くあります。また、鶴代橋は市で唯一の100mを越える大型道路橋(鶴代橋)であり、その橋長は213mです。

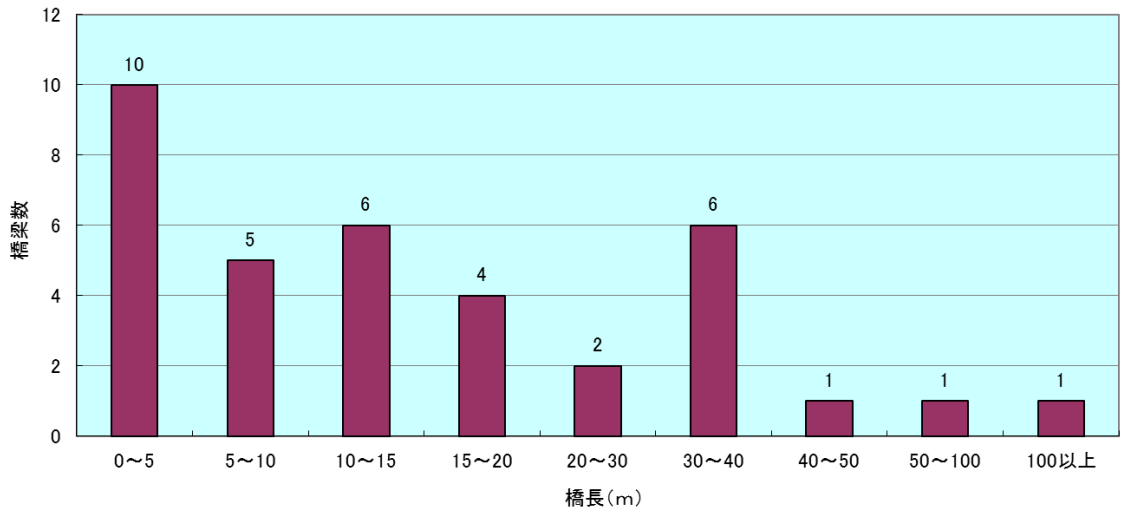


図 3-2-10-10 橋長ごとの橋りょう数

3.2.10.4. 橋りょうの劣化状況

(1) 目視点検

平成 25 年の道路法等の改正により、道路橋等について、五年に一回の頻度を基本として定期的に点検し、健全性を把握しつつ道路の効率的な維持及び修繕が図られるように必要な措置を講ずるように規定されました。本市における道路橋 36 橋のうち、平成 24 年度に架設された「北府中駅階段」を除く 35 橋について目視点検を行いました。橋りょう点検は、「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局（以下「点検要領」という。）に基づいて実施しています。

市では、国土交通省が進める施策である『長寿命化修繕計画策定事業』を踏まえ、従来の「事後的な修繕及び架替え」から「予防的な修繕及び計画的な架替え」へと政策転換を計画しています。これにより、橋りょうの長寿命化、修繕、架替えに係る費用の縮減を図りつつ、道路網の安全性と信頼性を確保することを目指します。

表 3-2-10-5 点検対象橋りょう数

橋 長	平成 27-28 年度 実施橋りょう数 (橋)	橋 種 (橋)	
		コンクリート橋	鋼 橋
橋長 15m以上の道路橋	14	4	10
橋長 15m未満の道路橋	21	18	3
合 計	35	22	13

※「北府中駅階段」は、2014 年度架設のため 5 年経過していません。
そのため、現時点では点検の対象外です。

表 3-2-10-6 損傷程度の判定区分

判定区分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

※「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局によります

(2) 目視点検結果

目視点検をした 35 橋の損傷状況は、次のとおりです。目視点検の結果では、緊急に補修が必要な（IV判定）の橋りょうはありません。

① 目視点検結果の概要

- 全ての対象橋りょうに、大小を問わず損傷があります。
- 損傷は、主に上部工と下部工のコンクリートひび割れ、腐食です。
- 目視点検は、「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局によります。

② 橋りょうごとの損傷程度

目視点検した橋りょうごとの損傷程度を、表 3-2-10-7 に示します。

表 3-2-10-7 目視点検した橋りょうの損傷程度

NO	橋梁名	橋種	評価区分	結果概要
1	鶴代橋	PC橋	II	・2径間地覆下面に鉄筋露出、うきが広範囲にみられる。 ・埋設伸縮の舗装ひびわれから桁下橋脚上面に流水し公園、管理施設へと滴下している
2	富士見通り立体橋	鋼橋	III	・防護欄（内側）、地覆（3径間外側）に鉄筋露出、うきが多数みられる。第三者予防措置として叩き落としをした。 ・伸縮装置に排水工がなく、下面に著しい腐食がみられる。
3	白糸橋1号	RC橋	III	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの剥離、ひびわれが見られる。
4	白糸橋2号	RC橋	III	・上部構造の横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離がある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
5	白糸橋3号	RC橋	III	・主桁の剥離はわずかであるが、床版（張出端部）の鉄筋露出が多くある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
6	小柳橋	RC橋	III	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの白紙、ひびわれが見られる。
7	みょうらい橋	PC橋	II	・橋台前面にひびわれが見られる。前回点検よりひび幅が0.2mm→0.7mmへの拡大が見られる。 ・地覆下面に鉄筋露出がみられる。 ・第三者予防措置で叩き落としを施した
8	中央道側道1号	RC橋	II	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。また、橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。 ・高欄の腐食が広がっている。
9	矢崎排水第三号橋	RC橋	II	・橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。
10	256号	RC橋	II	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。 ・防護欄に鉄筋露出が広がっている。
11	雑田橋	RC橋	II	・上流側に添架された歩道橋の主桁、横桁に軽微な腐食が見られる。 ・径間中央の橋脚（水路壁）にうき、剥離が生じている。
12	261号	RC橋	I	・主要な部材は健全であるが、地覆の一部が欠損している。
13	262号	RC橋	I	・主要な部材は健全、防護欄に腐食が見られる。
14	大山橋	RC橋	I	・支承のエラストイトが一部はみ出しているが、支承機能障害とはならない。
15	相模橋	RC橋	I	・主要な部材は健全であるが、防護欄に腐食が見られる。
16	264号	RC橋	II	・主桁中間部に直角方向のひびわれが数本見られる。 ・防護欄の棧材に欠損が見られる。
17	208号	RC橋	II	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・地覆、防護欄支柱に剥離、鉄筋露出が見られる。
18	265号	RC橋	I	・主要な部材は健全だが、防護欄が腐食し欠損が生じている。
19	火の見橋	RC橋	II	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・防護欄散在に腐食が見られる。
20	267号	RC橋	I	・主要な部材は健全、防護欄に腐食が見られる。 ・舗装面にひびわれが見られる。
21	270号	RC橋	II	・主桁（BOX頂版）、橋脚（BOX中央側壁）に剥離、鉄筋露出が見られる。 ・その他、袖擁壁にひびわれが見られる。

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）

N0	橋梁名	橋種	評価区分	結果概要
22	分倍1号橋	鋼橋	II	・橋脚下部に板厚減少をとまなう腐食がみられる。 ・床版間詰め部からの遊離石灰が広範囲にみられる
23	武蔵台3丁目跨線橋	鋼橋	II	・床版に部分的に板厚減少をとまなう腐食がみられる。 ・支承（102）著しい腐食により支承の機能障害が発生している。
24	第六小前歩道橋	鋼橋	III	・主桁、横桁は防食機能劣化の段階であるが、床版、階段部職上・踏板及び橋脚基部の腐食が進行している。
25	第九小前歩道橋	鋼橋	III	・上部構造の腐食は軽微であるが、階段部各部、その他で排水設備（排水樋）の腐食が進行している。
26	紅葉丘歩道橋	鋼橋	III	・端横桁、階段部職上、橋脚基部の損傷が進行している。
27	第五小前歩道橋	鋼橋	III	・路面からの雨水が箱桁内部に主桁添接部より浸入しており、主桁添接部の腐食が顕著である。 ・階段部主桁も部分的に腐食が進行している。 ・伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
28	西府駅南側西府崖線歩道橋	鋼橋	I	・主桁のごく一部に点錆が見られるが、主要な部材は健全である。 ・A1橋台伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
29	西武多摩川線横断歩道橋	鋼橋	II	・鋼材全体的に広範囲な腐食がみられる。 ・3径間、4径間は主桁、床版に板厚減少、膨張をとまなう著しい腐食がみられる。
30	本町2丁目跨線人道橋	鋼橋	III	・5径間、6径間主桁、床版、職上に板厚減少をとまなう著しい腐食がみられる。 ・橋脚下部には孔食をとまなう腐食がみられる。
31	車返団地横断歩道橋	RC橋	III	・跨道部桁、斜路部桁は概ね健全であるが、橋脚躯体の一部に剥離、鉄筋露出、橋脚梁付け根にひびわれが見られる。 ・階段主桁中間部に多くのひびわれ（幅0.2m以上、間隔0.5m未満）が見られる。
32	南白糸台横断歩道橋	鋼橋	III	・上部構造各部材、下部構造、階段部とも腐食が進行している。 ・路面の排水樹には土砂詰まりが生じている。
33	分倍河原駅人道橋	鋼橋	III	・階段地覆（5～6径間）に広範囲で鉄筋露出がみられる。 ・橋台側面にうき（800mm×300mm）がみられる。
34	府中スカイナード （府中駅北口歩道橋）	鋼橋	I	・主桁を覆う化粧板内部に雨水の漏水が部分的に見られ、床版に軽微な腐食の発生が認められたが、概ね健全の状態にある。
35	観月橋立体交差人道橋	RC橋	III	・主桁には多数のひびわれ（幅0.2m程度、間隔0.5m未満）、部分的な剥離、鉄筋露出が見られた。 ・A1橋台伸縮装置近傍に路面の凹凸（3cm）が見られた。

※「道路橋定期点検要領」：平成26年6月 国土交通省 道路局によります

※「北府中駅階段」は2014年度架設のため5年経過していません。そのため、現時点では点検の対象外です。

3.2.10.5. 地域別集計

市が管理する道路橋と市内に架かる歩道橋を、地域別に集計して下表に示します。また、地域区分と橋りょう位置を示した位置図を示します。

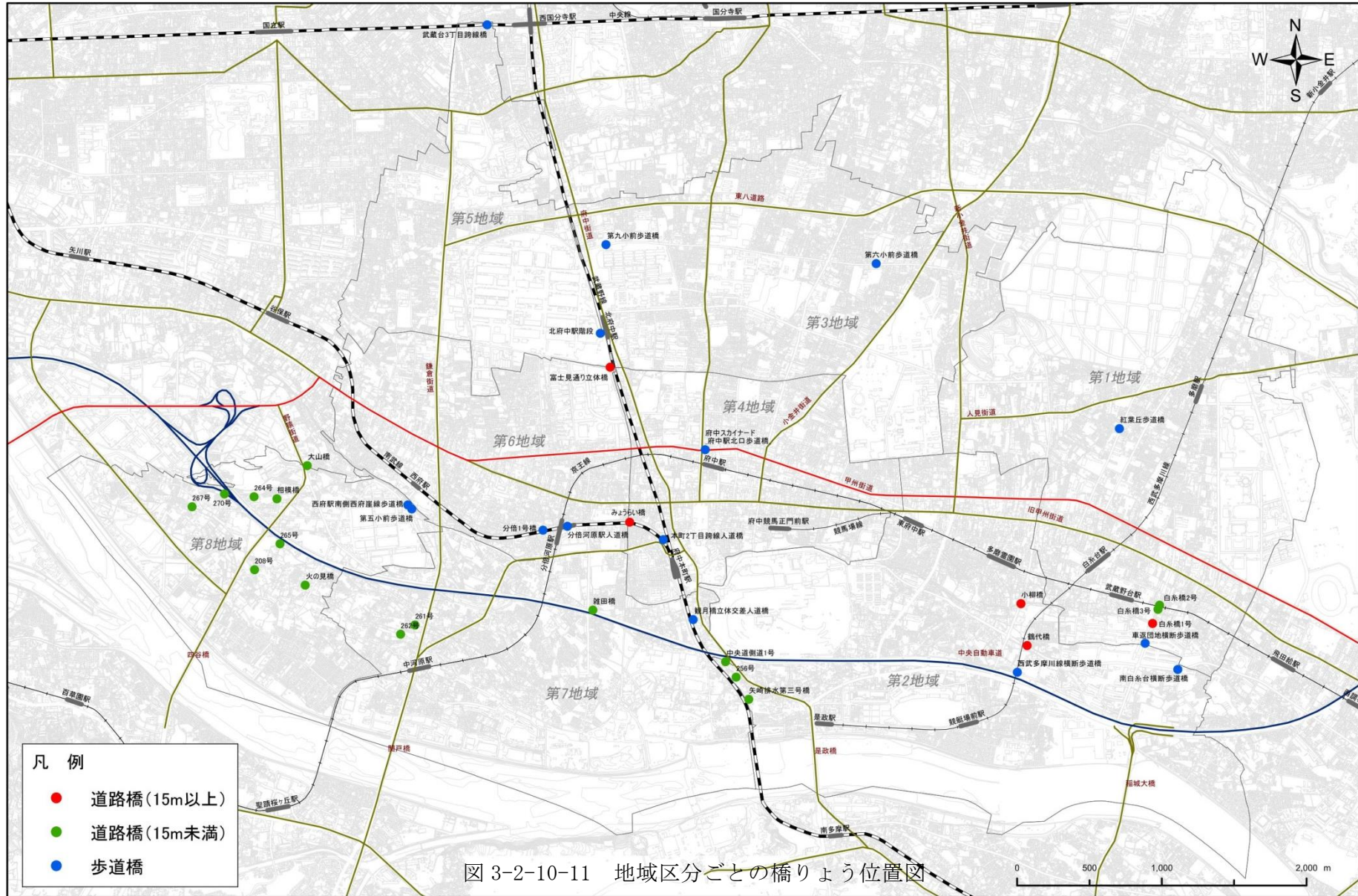
表 3-2-10-8 地域区分と該当区分内の橋りょう

地域区分	橋梁種別	橋梁名
第1地域	道路橋	白糸橋1号
		白糸橋2号
		白糸橋3号
	歩道橋	紅葉丘歩道橋
第2地域	道路橋	鶴代橋
		小柳橋
		中央道側道1号
		矢崎排水第三号橋
		256号
	歩道橋	西武多摩川線横断歩道橋
		車返団地横断歩道橋
	南白糸台横断歩道橋	
第3地域	道路橋	なし
	歩道橋	第六小前歩道橋
		第九小前歩道橋
		みょうらい橋
第4地域	道路橋	本町2丁目跨線人道橋
	歩道橋	府中スカイナード 府中駅北口歩道橋

地域区分	橋梁種別	橋梁名
第5地域	道路橋	なし
	歩道橋	武蔵台3丁目跨線橋
第6地域	道路橋	富士見通り立体橋
	歩道橋	分倍1号橋
第7地域	道路橋	雑田橋
		261号
		262号
	歩道橋	観月橋立体交差人道橋
第8地域	道路橋	大山橋
		相模橋
		208号
		264号
		火の見橋
		265号
		270号
		267号
	歩道橋	第五小前歩道橋
		西府駅南側西府崖線歩道橋

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）



3.2.11. 立体横断施設等

立体横断施設等は、市管理のエレベーター、エスカレーター、ペDESTリアンデッキを対象とし、決算資料や現地確認等より箇所を確認しました。

3.2.11.1. 全体数量

府中市が管理する立体横断施設等は、ペDESTリアンデッキ、エレベーター及びエスカレーターの3種類です。その内訳は、ペDESTリアンデッキが府中駅付近に2橋、エレベーターが府中駅、府中本町駅、西府駅及び分倍河原駅付近に7基、エスカレーターが西府駅付近に4基となっています。

表 3-2-11-1 立体横断施設等全体数量

No	分類	名称	名称2	設置駅	設置年度
1	ペDESTリアンデッキ	府中駅北口	—	府中駅	1994
2		府中駅南口	—	府中駅	1995
3	エレベーター	府中駅北口歩道橋 エレベーター	—	府中駅	1994
4		府中本町駅構外北側 エレベーター	—	府中本町駅	2003
5		府中本町駅構外西側 エレベーター	—	府中本町駅	1998
6		西府駅自由通路 エレベーター	駅北側	西府駅	2009
7		西府駅自由通路 エレベーター	駅南側	西府駅	2009
8		西府駅南側歩道橋 エレベーター	—	—	2008
9		分倍河原駅南側 エレベーター	—	分倍河原駅	1978
10	エスカレーター	西府駅自由通路 エスカレーター	駅北側上り	西府駅	2009
11		西府駅自由通路 エスカレーター	駅北側下り	西府駅	2009
12		西府駅自由通路 エスカレーター	駅南側上り	西府駅	2009
13		西府駅自由通路 エスカレーター	駅南側下り	西府駅	2009

3.2.11.2. 立体横断施設等位置

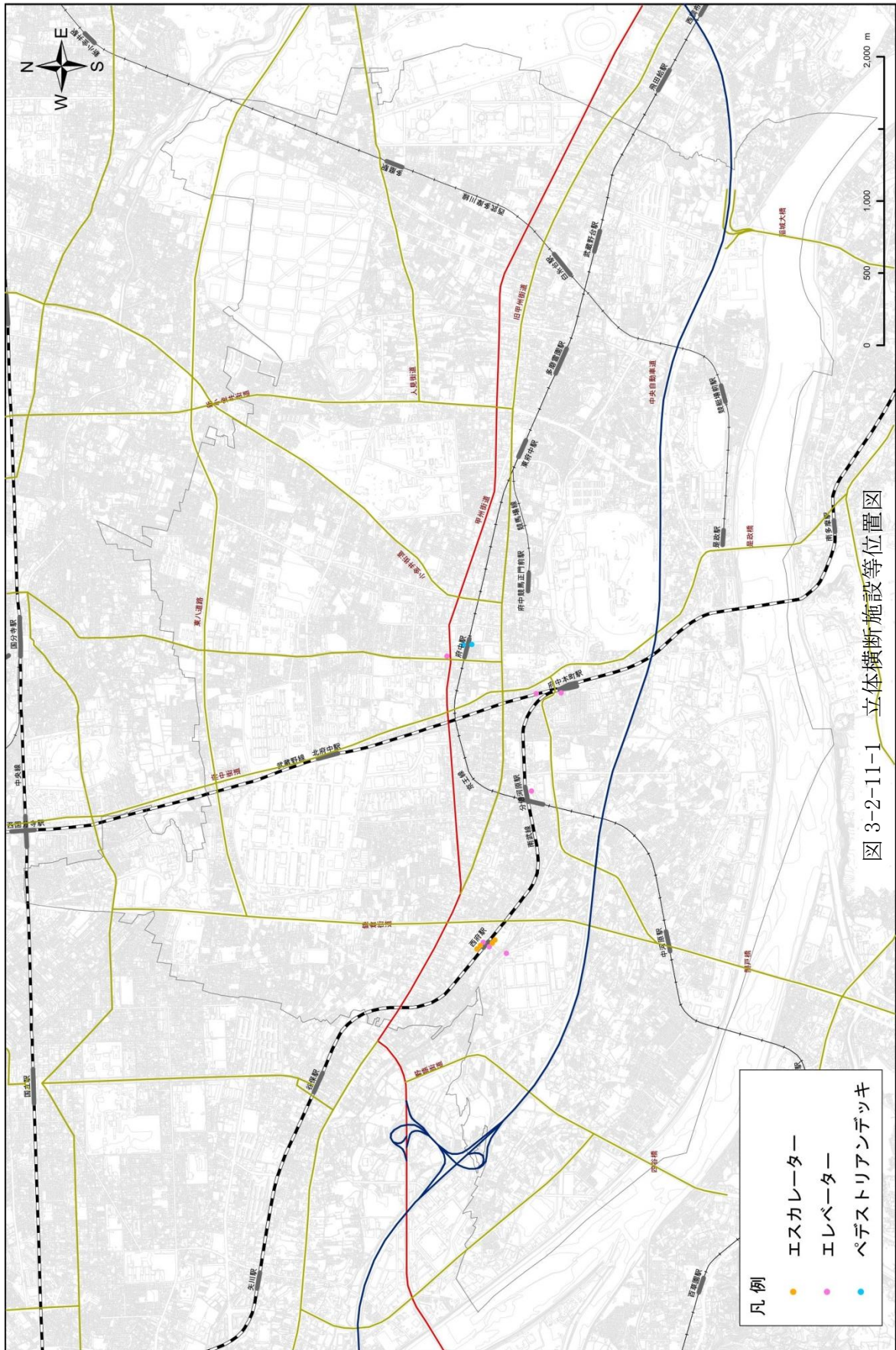


図 3-2-11-1 立体横断施設等位置図

3.2.11.3. 立体横断施設等の整備状況

- 全てのエレベーター、エスカレーターについて、定期的な点検（毎月 1 回）を行っています。また、全てのエレベーターは遠隔保守監視サービスを実施しており、機器を良好な状態に保つようになっています。
- 過去 2 年間で分倍河原駅南側エレベーターでは乗り場液晶表示板修繕やメインロープ修繕、エレベータカゴドア修繕を実施しております。また、府中本町駅構外西側エレベーターでは、乗り場操作盤表面板の交換やかご床タイルの修理を実施しています。
- ペDESTリアンデッキの点検については今後予定しておりますが、簡易な補修について、平成 26 年度に 21 回、平成 27 年度に 30 回実施しています。

3.2.12. 大型構造物

大型構造物は、市管理の擁壁やボックスカルバート、その他構造物（西府駅自由通路）を対象としています。

3.2.12.1. 全体数量

府中市が管理する大型構造物は、26 か所です。なお、大型構造物は、主に鉄道や道路部との交差箇所に、アンダーパスや地下通路部として、ボックスカルバートや地下道の擁壁などを設置しています。

表 3-2-12-1 大型構造物全体数量

名称	名称2	市道名	市道番号	構造	交差物	車輛通行の有無	車線数	ポンプの有無	冠水表示板の有無
武蔵台通りアンダーパス	横街道第一	武蔵台通り		擁壁	鉄道	○	2	○	
横街道アンダーパス	横街道第二	横街道		擁壁	鉄道	○	2	○	○
西府駅地下通路				ボックスカルバート	鉄道	—	—	○	
西府駅自由通路				建築物	鉄道	—	—		
矢崎町3丁目歩道アンダー	是政第二架道橋		4-198	擁壁 ボックスカルバート	鉄道 /高速道路	—	—	○	○
矢崎地下道			4-132	擁壁	鉄道	—	—	○	
観月橋立体	矢崎架道橋		4-507	擁壁 ボックスカルバート	鉄道	○	1	○	○
サントリー前アンダー	第一是政	中央道側道		擁壁 ボックスカルバート	鉄道	○	2	○	○
村雨BV			4-280	擁壁	鉄道	○	1	○	○
小柳散歩道				擁壁	鉄道	—	—	○	
白糸台地下道				ボックスカルバート	鉄道	—	—		
多磨駅前地下通学路			1-88	ボックスカルバート	鉄道	—	—		
多磨霊園駅ポンプ			2-310	ボックスカルバート	鉄道	—	—	○	
白糸台通りアンダーパス		白糸台通り		擁壁	市道	○	2		
白糸台4丁目擁壁			2-204	擁壁	市道	○	1		
九中通りアンダーパス		九中通り		擁壁	市道	○	2		
新田川緑道				擁壁 ボックスカルバート	鉄道	—	—		
亀里橋アンダー			4-320	擁壁 ボックスカルバート	都道	—	—	○	
ニヶ村緑道		是政通り		擁壁 ボックスカルバート	市道	—	—	○	
富士見通り立体		富士見通り		擁壁	鉄道	—	—		

3.2.12.2. 大型構造物位置

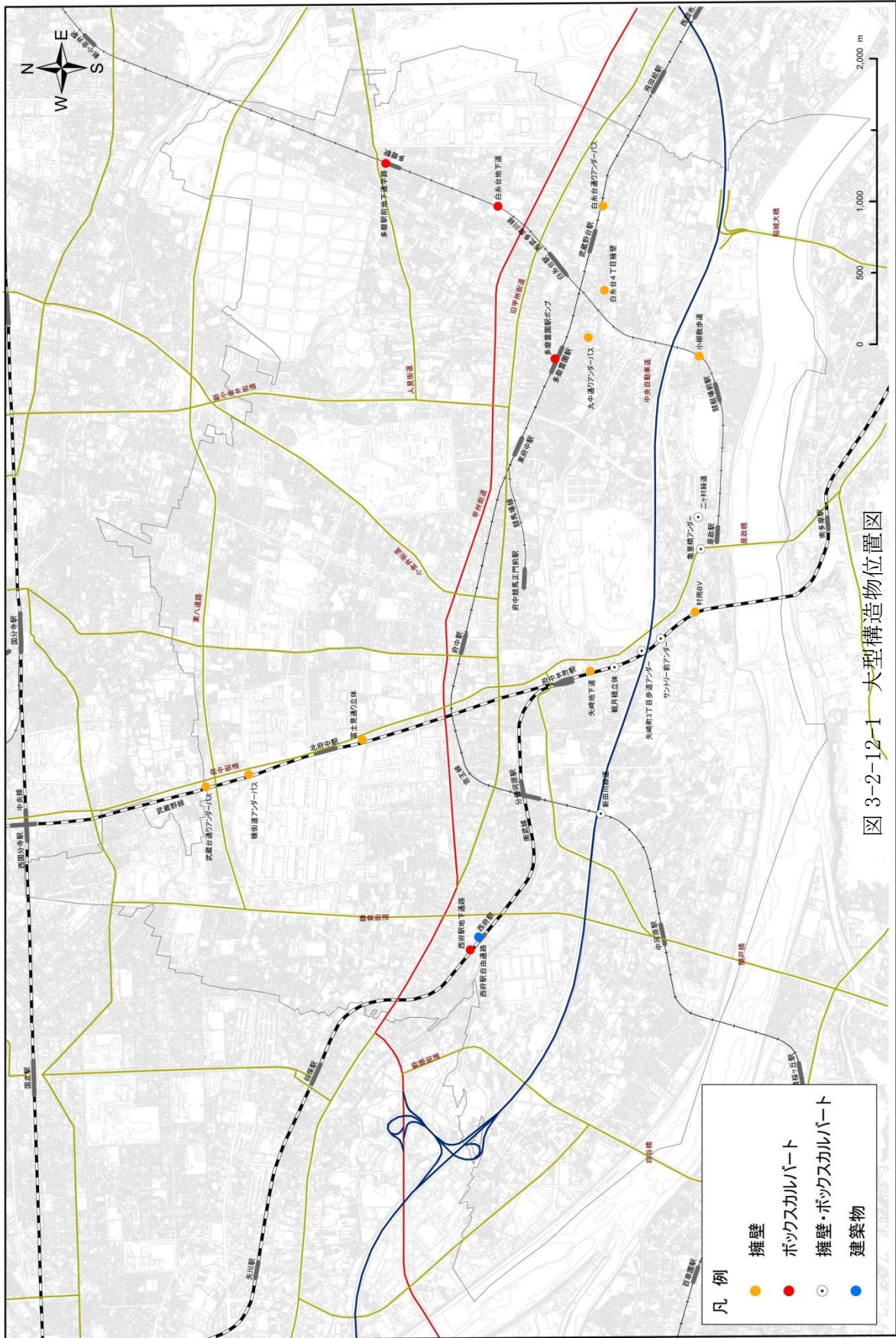


図 3-2-12-1 大型構造物位置図

3.2.12.3. 大型構造物の整備状況

- 全ての大型構造物に付帯する排水ポンプや冠水表示板について、定期的な点検（年1回）を行っています。